

日本では、リーマンショック、東日本大震災と立て続けに大きな経済的・社会的ショックに見舞われ、非正規雇用者を中心に雇用情勢の悪化がみられた。また、非正規雇用や労働者の賃金の問題に加え、長期失業者や中年無業者などの増加の問題も大きくなっている。長期的には、人口減少、高齢化による経済・社会の活力低下が懸念されている。

「平成24年版労働経済の分析」では、「分厚い中間層」の復活が、需要面では消費の増加を通じた需要不足の解消に、供給面では経済社会、社会保障を支える基盤強化につながるという観点から分析を行った。

目次

－分厚い中間層の復活に向けた課題－

第1章 労働経済の推移と特徴	2
第1節 一般経済、雇用、失業の動向	2
第2節 東日本大震災が雇用・労働面に及ぼした影響	6
第3節 円高の進行と海外経済が国内雇用に与える影響	8
第4節 賃金、労働時間の動向	10
第5節 物価、勤労者家計の動向	12
第6節 労使関係の動向	14
第2章 貧困・格差の現状と分厚い中間層の復活に向けた課題	16
第1節 非正規雇用者、貧困・格差の現状、背景とその問題点、対策	16
第2節 分厚い中間層の復活に向けた課題	20
第3章 就労促進に向けた労働市場の需給面及び質面の課題	24
第1節 就業率向上に向けた労働力供給面の課題	24
第2節 能力開発の現状と課題	28
第3節 労働環境の改善に向けた課題	30
第4節 労働移動や雇用調整など労働市場の課題	34
まとめ	36